

発行所：米子市子ども会連合会 米子市東町 161-2 米子市教育委員会生涯学習課内

子ども会リーダー育成研修 キャンプ体験

今年度の子ども会リーダー育成研修に参加している米子市内から集まった5・6年生20名が、旧日新小学校でキャンプ体験をしました。

このキャンプ体験は子ども達がリーダーとしての自覚をもち、各単位子ども会に帰ってこの経験をいかして活躍してくれることを目的としています。

はじめは少し緊張気味の子どもたちでしたが、すぐに打ち解けて大きな笑い声で楽しく活動していました。

1日目は自分たちで考えた献立の買出しをして、夕食を作りました。夜には待ちに待ったきもだめし。いろいろな叫び声が、福市公園に響いていました。そして2日目。班ごとに協力し合っかまどやテントを片付けたり、ジュニアリーダーと一緒に鬼ごっこやドッチビーをしたりして、楽しく親睦を深めました。



協力してテントをたてました

このキャンプ体験を通して、リーダーシップや自主性、協調性を身につけてもらえたらと思います。



夕食は焼きそば

参加児童の声

- ・何をしてもよいか分からなかったけど、少しずつやり方が分かって楽しかった。家族でもキャンプとかしたいです。
- ・ひとりで行動することが好きだったけど、みんなと協力することも楽しいことが分かりました。

役員さんの声

テントを張るのに少し苦労したようでしたが、ジュニアリーダーのアドバイスもあり、うまく張ることができました。その後も協力あって、かまど作り、飯ごう炊さん、豚汁作りと進めることができました。苦労して作ったごはんの味は最高！！みんながおかわりを何杯もしていました。夕飯を終えての片付けですが、やり直しと言われないうようにすすのついた鍋を金たわしで一生懸命洗っていました。また、片付けがまだ終わっていない班を手伝っている子どもの姿が見受けられました。そして、ジュニアリーダーのかけ声や、指導する姿が「本当に立派だなあ」と思いました。



郷土学習の話し合い

子ども会では、普段できない活動を！

～子ども会育成者研修会～

「育成者は何を考えるのかな?」と題して 安部悟さん(春日地区子ども地域活動支援事業実行委員会会長)の発表がありました。「地域の教育力として期待される子ども会活動」であるが、「子どもを取り巻く環境」の問題、その中での「目指す子ども像」や「地域ネットワーク」の大切さについてわかりやすく話していただきました。途中、「ポータブルゲーム機をいかした子ども会活動はできないか?」という討議テーマを与えられ、参加者達は頭を悩ませながらもいろいろな意見が出されました。講演後、6～7名の班でグループ討議を行い、育成者の悩み等について話し合いました。子どもが多い地区や少ない地区などいろいろありましたが、スポ少・習い事などの行事が優先になり、子ども会行事の参加は後回しになってしまうことや、子ども主体ではなく育成者が中心になって活動を決めてしまうことなど、話は尽きませんでした。いろいろな地区の育成者の方と話をすることは、参考になることがとても多く、有意義な時間を過ごすことができました。子どもの主体性を養い、子どもの手による子ども会を目指すため、地域の育成者はどうしたらいいか・・・みなさんも考えてみてください。



グループ討議の発表

子どもの手による子ども会

優良子ども会紹介

平成20年度米子市優良子ども会の中で、鳥取県子ども会育成連絡協議会表彰に推薦した4団体の子ども会活動を紹介します。

上谷3区子ども会

会員数59人 福米西地区

現在子ども数59人、家庭数40家族で活動しています。子ども会独自のレクリエーションや歓送迎会、校区の球技大会や運動会などを中心に地域の方々の協力のもと活動しています。

また、親子で行なう公園の清掃や除草作業は長年継続している活動で、我が子ども会の特色の一つです。

3区あおぞら子ども会

会員数11人 和田地区

今年度の子ども会の構成メンバーは6年生がいませんが、いない中でも最上学年の5年生が下学年をリードしてくれました。主な活動は夏休みの行事でしたが、「親子ふれあいプール」などは親子の行事というより、子ども達が上下の学年を問わず、団結して一緒に楽しんでいたのが夏休みの良い思い出になったと思います。来年度も変わらず少ない人数のままですが、より一層団結力のある子ども達になってほしいと思います。

福生東11区子ども会

会員数29人 福生東地区

今年は例年よりレクリエーションを1回増やし、6年生が中心となって「おもしろ実験教室」を開催しました。あらかじめ6年生が集まり、実験の仕方を習い、当日は子どもを3班に分け、6年生を中心に育成者が補助しながら行いました。

- 1 紙ブーメラン
- 2 空気砲
- 3 電気クラゲ

身近にある材料を使ったので、子ども達もとても興味を持って取り組むことができたと思います。

安倍子ども会

会員数86人 住吉地区

今年度は、「体験」と「交流」という2つのキーワードで示すことのできる1年でした。「体験」に関しては、地域の伝統芸能（やぐら太鼓や子供神楽）と、竹を切り、火を起こして作った流しそうめんが挙げられます。また、「交流」については、地域行事（運動会、盆踊り大会、とんどさん神事）への参加と、小規模作業所の方々と一緒にフェルト作品づくりを行なった事が当てはまります。